

第 1 部
めざすとしぎの姿

V めざすとしぎの 将来像

I

時代の潮流ととしぎの課題

II

としぎの強み

III

人口の将来展望

IV

各地域の特性

V

めざすとしぎの将来像

1 としぎの将来像

人口減少・少子高齢化による労働力や地域の担い手の不足、気候変動によるリスクの高まりのほか、デジタル化の急速な進展など、社会は今、時代の大きな変化の中にあります。

今を生きる私たちが、安心して豊かで幸せに暮らせるとしぎをつくり、次の世代に確実に引き継いでいくためには、時代の潮流を的確にとらえ、本県の強みを生かしながら、県民一人ひとりが未来に希望を抱き、ふるさととしぎに誇りを持てる確かな将来像を描くことが重要です。

このプランでは、めざすとしぎの将来像を

共に創る 人も地域も輝く“元気なとしぎ”

と掲げ、各分野の具体的な将来像を

◆ 未来を担う人材が育ち、女性や若者が輝く「としぎ」

◆ 様々な産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「としぎ」

◆ 県民一人ひとりが健康に暮らし、希望を持てる「としぎ」

◆ すべての県民が安全・安心に生活できる「としぎ」

◆ 未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「としぎ」

として、県民の皆様とともに、その実現に向け、全力で取り組んでいきます。

◆ 未来を担う人材が育ち、女性や若者が輝く「としぎ」

- 社会の大きな変化の中にあっても、こどもたちが自らめざす未来を描くことができるよう、それぞれの可能性を引き出す学びが実践されています。
- 経済的安定と子育て環境の充実により、次代を担う若者の結婚や妊娠・出産、子育ての希望が実現しています。
- 女性・若者が活躍し、すべての県民が持てる力を発揮しています。

◆ 様々な産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「としぎ」

- 本県の強みであるものづくり産業をはじめ、生活に身近なサービス産業や観光産業、次世代産業、スマート技術を活用した農林業等が力強く成長するとともに、企業の誘致が進んでいます。
- 人やモノの流れを支える広域道路ネットワーク等の社会基盤が充実しています。
- 性別や年齢、障害の有無や国籍などに関わらず、誰もが意欲と能力に応じ、いきいきと働き、地域産業を支える多様な人材が育っています。
- 県産品の販路開拓や輸出の拡大、企業の海外展開など、稼ぐ力が育まれ、生活に豊かさがもたらされています。

◆ 県民一人ひとりが健康に暮らし、希望を持てる「としぎ」

- 誰もが住み慣れた地域で必要な保健・医療・福祉サービスや生活支援サービスを受けられ、いきいきと暮らしています。
- 県民一人ひとりが若い頃から健康的な生活習慣を実践しています。
- 地域の実情に応じた医療資源の確保が図られています。
- こどもや高齢者、障害者、外国人など世代や背景を問わず、誰もが安心して暮らせる環境が整うとともに、それぞれの能力や個性を生かして社会の様々な場で活躍できる共生社会が実現しています。

◆ すべての県民が安全・安心に生活できる「としぎ」

- 県民一人ひとりに防災の意識が浸透し、地域の安全は自分たちで守る行動が定着するとともに、市町・関係機関との連携のもと、迅速・的確な災害対応体制が強化されています。
- あらゆる関係者との協働による流域治水対策により、気候変動への適応や災害に強いしなやかな県土づくりが進んでいます。
- 広域道路ネットワークの充実・強化などにより、災害等の発生時における日常生活への影響の最小化や首都直下地震時等のバックアップ機能の強化など、県民が安全・安心なとしぎを実感しています。
- 地域全体で犯罪や交通事故などから身を守る取組が広がっています。

◆ 未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「としぎ」

- 国内外にとしぎの魅力と知名度が広く浸透し、県民がふるさとに愛着と誇りを持つとともに、多くの人が、としぎを訪れたい、としぎに住みたい・住み続けたいと思っています。
- 地域の特性に応じた機能が集積したコンパクトな拠点づくりが進められるとともに、無人自動運転技術の実装などによる公共交通等の充実をはじめ各拠点をつなぐネットワークが構築されることで、生活がますます活気に満ち、便利になっています。
- 省エネや再生可能エネルギー導入等により、カーボンニュートラル実現に向けた取組が進むとともに、豊かな自然を守り共生する大切さが体现されています。
- スマートシティの取組や環境整備が進むとともに、デジタル人材が育ち、多様な主体との共創による地域DXが進められています。

2 とちぎの将来像の実現に向けた基本姿勢

人口減少が進む中、人材や労働力が希少となる人材希少社会においては、ジェンダー平等の実現を図りながら、全ての人が尊重される社会を築いていく必要があります。このため、人づくりなどにより、県民一人ひとりの可能性を最大限に引き出していくことが重要です。

また、人口減少が進む地域において様々な社会課題の解決を図る上では、AIやデジタルなどの新技術の活用に加え、県民をはじめとする様々な主体が、それぞれの役割を果たしながら、より一層連携・協力していくことが必要です。

そこで、このプランにおいては、幅広い県民の皆様と共にとちぎの将来像を実現するため、次の3つの基本姿勢を掲げ、とちぎづくりを進めていきます。

(1) 県民主役

県民一人ひとりがとちぎづくりの主役です。とちぎの将来像を実現するためには、県民と認識を共有するとともに、県政に対する様々な意見を踏まえながら、共に取組を進めていく共創の考えが重要です。

このため、様々な機会を通じて、県政に対する県民ニーズを的確に把握していきます。また、県民の県政への関心を高め、理解促進を図るため、各種媒体を活用し、情報を発信していきます。

(2) 連携・協働・共創

人々の価値観や社会構造が変化する中、県民ニーズにあった行政サービスを持続的に提供するためには、県民をはじめ行政、NPO、企業、高等教育機関などの多様な主体が、各々の持つ知恵や力を結集し、取り組んでいくことが重要です。

このため、これまでの協働に加え、共創の考えのもと、初期の検討段階から多様な主体が連携して課題解決に取り組み、新たな魅力や価値の創造に挑戦していきます。

(3) 地域間連携

活気に満ちたとちぎづくりを進めるため、各地域が抱える様々な課題に対して、多彩な地域資源を活用しながら、そこに住み、地域を支える人たちが主体的に取り組むとともに、地域が連携・協力し、それぞれの持つ強みを最大限に引き出すことが重要です。

このため、県・市町に共通する行政課題に対しては、市町とともに県全体の効率化・最適化に向けた検討を進めるとともに、広域的に取り組むべき課題に対しては、市町間の施策連携などの取組を支援していきます。

また、県外の団体・企業等とも連携を図り、相互の強みを活かした取組を推進していきます。